

はちまんたい

2006.4.6
No.14

●主な内容

- 18年度まちづくりの概要と予算…02
- 市の組織機構改革と人事異動…08
- 市議選投票日は4月23日(日)…15
- 話題ピックアップ…16
- がっこうニュース…20
- 生涯学習…22
- お知らせ…24

●今月の表紙

平館高等学校の入学試験合格発表は3月15日、同校で行われました。受験生たちは、緊張した表情で同校玄関に張り出された合格者の受験番号を確認。合格者もそうでなかった人も、学習に取り組んだ日々を胸に、新たな目標へと歩み始めました。



躍進誓う農と輝の大地

みのり ひかり

3月1日から20日までの20日間、平成18年市議会第1回定例会が開かれました。田村正彦市長は「新しい時代の一步を踏み出す記念すべき年です。協働と躍進を基本とした郷土づくりに着実に取り組むと考えて」と決意を示しました。ここでは、施政方針と予算の主な内容を紹介いたします。(7ページまで)



な展開を図るよう努めました。今後とも「市民と行政との協働によるまちづくり」を基本理念として、すべての世代が次世代に夢をつなげるまちづくり、誰もが住み続けたいと思う魅力あるまちづくりを、地道に力強く推進していきます。

自然と共生する、快適な住環境のまちづくり

道路整備事業は、市道日影山蟹沢線など7路線の改良舗装工事を行います。市道松尾線、有矢野線で路盤改良舗装工事を行うほか、矢野西線など2路線の拡幅改良舗装工事を行います。軽舗装工事は緊急・利用状況などを踏まえながら実施します。県営事業は、市道岩手山1号線県代行事業の継続、国道282号西根バイパスの平成20年度開通に向けた本線整備、一般県道岩手大更線竹花跨道橋から市立図書館を経由し、国道282号に至る接続道路の整備が

総合公共交通システムを検討

継続される予定です。都市計画事業では、都市計画の基本理念に基づき、人口密集地を対象に都市計画区域の見直し、西根バイパス開通を踏まえた、新たな計画の策定に取り組みたいと考えています。汚水処理事業は、旧西根町が認定を受けている地域再生計画に、松尾・安代両地域の浄化槽事業を追加し、施設整備を推進します。公共下水道事業は、西根浄化センターの処理槽増設の実施設計を行います。新年度の管渠布設工事は、主に



新しい郷土づくりのスタート台に立った八幡平市。本格的なまちづくりが新年度から始まります

昨年9月、旧西根町・旧松尾村・旧安代町は、新しい郷土づくりのスタート台に立ちました。本年度は八幡平市の礎を築き、将来、子孫が豊かな自然と互いの助け合いの心の中で、さらに発展するための大切な年です。これからさらに力強い、魅力のある、地方分権と協働のまちとして発展することを希求し、合併の効果を発揮するとともに、厳しくとも八幡平市に住んで良かったといえるまちづくりのために全力を尽くして取り組めます。

市の将来像「農と輝の大地」の実現を目標とした、新市建設計画の着実な実行と行財政改革を実行し、自己決定、自己責任の下、主体的な自治体として、市民の皆さまに説明責任を果たせる体制の構築に努めます。さて、合併後、本市の初めての本格予算となる平成18年度八幡平市当初予算案を編成しました。一般会計総額を152億6220万円とし、前年度対比は旧3町村の当初予算ベースで、1.2%の減額となりました。企業

快適に移動できるよう、患者輸送バス、スクールバスなどを有効活用し、国の施策の導入を図るなど、総合的な公共交通システムの構築について検討します。路線バスの維持、廃止代替バス路線運行への助成も引き続き実施します。子育て支援の一環として、公共交通機関を利用して高校などへ通学する生徒に、通学定期購入費の助成をします。除雪は、積雪量や地域の実情に応じて効率的な対応に努め、市民の日常生活に支障を来さないよう市道、歩道を合わせて640キロを除雪しています。今後も適正な除雪計画を策定し、年次計画で除雪機械の導入を図るなど、市民の交通、生活機能の確保に努めます。

自然環境に恵まれた本市は、大切な自然を損なうことがないよう環境衛生の維持、保全に努めます。地域でごみの減量化に取り組む、資源ごみ回収への援助や、公衆衛生活動への

連携によって築く、躍進する産業のまちづくり

食料の安定供給と経営所得安定対策大綱の基本理念を踏まえ、本市の基幹産業である農業の健全な発展を見据えて施策を展開します。水田農業については、19年度から品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全対策が導入さ

八幡平の国立公園指定50周年

れることとなります。国の重要な政策転換に速やかに対応するため、新年度から「八幡平市農業振興支援センター」を発足させ、ハウレンソウ、リンドウの作付け推進と合わせ地域営農の推進を図る考えです。主要作物の米は、食が多様化する



良質米の生産振興に取り組み、実り豊かな「農の大地」へ

中、消費の低迷で過剰生産傾向にあります。従来にも増して良質米が求められ、消費者、市場ニーズを的確にとらえて生産振興に取り組まなければなりません。

園芸振興は、ハウレンソウの生産振興、面積拡大、促成アスパラガスの生産振興など、若手農業担い手支援総合対策事業を活用しながらの対応を考えています。リンドウは日本一のブランドです。長期安定出荷の確立や生産所得拡大に向け、生産者と関係機関が一体となり取り組む考えです。雪を活用した「雪冷房」リンドウ培養育苗生産施設整備事業を取り入れて研究したいと思っています。畜産振興については、市場価格の好調さから販売価格は上昇していま

市役所周辺の整備を実施します。安代処理区は、19年の利用開始に向けて、荒屋新町と五日市両地区の管渠整備に取り組みます。安代浄化センターの水処理施設の整備は県代行事業で実施しているところです。

農業集落排水事業は「田頭・平笠地区」が事業採択となり、6カ年事業で整備します。「平笠・寺田南地区」「北寄木地区」は引き続き工事に取り組みます。利用開始済みの7処理施設と松尾地域の集合浄化槽4施設は、接続率の向上に努め、農業用排水路や河川などの水質保全を図るなど、適切な維持管理に努めます。

浄化槽事業は、18年度から安代地域に市が設置・管理を行う方式の、浄化槽整備推進事業が決定しています。汚水処理整備の着実な進展と今後の維持管理の適正化という面からも加入促進に鋭意取り組めます。

水道事業は、水の安定供給を図るため、配水管拡張、老朽管更新、連結管整備事業を実施し、道路改良工事や下水道工事に伴う布設工事にも適正に対応します。経営面では、荒屋新町地区を重点に水道への加入促進を図り、健全経営に努めます。

市営住宅は、24団地、392戸を管理し、入居率は96%と高い利用者で推移しています。一部地域で入居希望者が多いことから、将来を見据えた検討が必要となっています。公共交通は、高齢化の進行など時代の背景を踏まえ、誰もが安心して

すが、上場頭数の減少で退潮傾向がみられます。後継者対策や経営規模拡大にも取り組まなければならぬ状況です。生乳ブローラーも、安全・安心な生産物の供給基地として、生産振興を図っていく考えです。

林業振興については、適正な森林管理を図るとともに、木材需要の拡大に向けて特用林産物の振興も含めて推進したいと思っています。また、引き続き林道の整備に取り組みます。地産地消の推進については、安全・



十和田国立公園編入50周年を迎える八幡平。市を全国にPRする絶好のチャンス

安心な地元食材を地域内で消費拡大し、市場への出荷と併せて市内に産直組合や宿泊施設など多くの観光施設があることから、観光協会との連携を深めながら、地元農産物の供給システムの構築を図っていきます。

県営工事の「浅沢地区県営中山間地域総合整備事業」は、工事を続行していきます。

18年度は、十和田八幡平国立公園・八幡平地域の指定50周年を迎えます。八幡平市を全国に発信する絶好のチャンスであり、50周年を契機に八幡平のPRに努めていきます。岩手山、八幡平、安比高原、七時雨山をエリアとした観光振興計画を策定し、観光と特産品の普及拡大を一体的に推進します。

豊かな観光資源と農業を結び付けた、健康・癒し型滞在観光を関係機関の連携による新たな取り組みとします。八幡平市観光協会の強化の下、観光ニーズにあつた各種イベントなどの推進を図り、観光誘客数の拡大に努めていきます。

商業振興対策は、八幡平市商工会の経営改善事業、振興対策事業などに対し、補助金を交付し支援を行います。引き続き商工団体が行う各地域の特性を生かした活性化対策としてのイベント開催を支援していきます。

「中小企業振興資金融資制度」利子、保証料補給の限度額を引き上げて実施し、中小企業の振興育成を積極的に支援します。

では、学びの場や人づくりの拠点となる生涯学習センター、公民館の整備充実を図り、図書館機能の強化による学習環境の整備を進めます。

公民館は、各地区の生涯学習の中心として位置付けており、地域間交流や新しい知識の習得のため各種事業を推進し、地域ボランティアの育成に努めます。

スポーツレクリエーションの振興は、各種大会などを開催し、体育協会と連携を図りながら、若者から高齢者まで楽しむことができるスポーツの環境づくりに努めていきます。

地域に伝わるさまざまな芸術・文化を市民が主体となって継承するため、地域芸能祭や郷土芸能祭を関係団体と共同で開催するほか、八幡平市芸術文化協会の発足に伴い、芸術文化活動を支援します。

文化財は、博物館や資料館の有効活用を図りながら、文化財・地域遺産

工業振興は、新たに「企業立地促進事業費補助金制度」を創設し、積極的に企業誘致に努めます。起業家に対しては貸工場への入居などの支援をします。

健康かな、創造性あふれる人材のまちづくり

大更と平笠に学童保育を開設

市の基本とする市民の健康づくりについては、市民が明るく安心して老後を迎えるため、市民一人一人が健康の維持、増進に努め、健康寿命が延伸できるよう、一次予防や介護予防に重点を置きます。検診事業、生活習慣病予防事業、母子保健事業など関係機関、団体と協力しながら保健施策の充実を図っていきます。

子育て支援対策は、仕事と子育ての両立支援対策として、延長保育、一時保育、乳児保育など地域に合わせ

市第三セクターについては、経営の内容分析を行い、適正な経営に向けて見直しを進め、それぞれの人的配置も含め、健全経営化のために改善を進めます。



世代間交流を深め、子どもたちの豊かな心をはぐくみます

た多様なサービスが必要であり、保育体制の充実を地域と一体として取り組めます。老朽化した保育環境の改善を図るため、畑児童館をあしる保育所の分園として整備します。

新年度、新たに大更小学校と平笠小学校の両区に学童保育クラブを設置し、適正な遊び場を提供し、児童の健全育成を図ります。

児童虐待を防止するため、新たに関係機関・団体によるネットワークを構築し、早期発見など虐待防止に努めます。

障害者福祉は、新年度から、障害者自立支援法の施行で、身体障害・知的障害・精神障害の種別にかかわらず、どのサービスも利用できる、利用者負担も1割負担となります。自立支援のため、日常生活用具給付や住宅改修の事業が引き続き実施されるほか、障害者小規模通所授産施設の運営を支援します。

高齢者福祉は、介護保険制度の改正で、新年度から八幡平市地域包括支援センターを設置します。このセンターを拠点に、見守りネットワークの組織づくりを進めていきます。

西根病院、安代・田山両診療所については、医療費制度改革が断行される中、自治体病院を取り巻く環境は、ますます厳しくなっています。医師の確保も大病院の医師引き揚げや地域偏在が恒常化しており、医師確保が重要な課題となっています。このような中、新年度も引き続き県医療関係機関、岩手医科大学に対して医師の派遣要請を積極的に行います。また、医療機器の充実や業務の効率化を推進し、健全経営に努めます。

学校教育は、児童・生徒が心豊かに成長することができる学校教育を目指して、学力向上を念頭に置き、学力調査に基づく確かな学力の把握や、教職員の授業力の向上を図るため、各種研修への積極的な参加を進めていきます。複式学級への支援、障害がある児童への的確な支援体制の構築や、中学校のスクールカウンセラーなど専門職員を配置し、相談活動で不安解消を図り健全育成に努めます。児童生徒の登下校の安全確保を図るため「学校安全体制整備推進事業」を導入し、地域ぐるみでの不審者対策や交通安全の確保に取り組みます。西根中学校の屋内運動場の建設を実施し、教育環境の整備を図ります。生涯学習と社会教育の振興につい



西根ミュージカルで生き生きと踊る子どもたち

を適切に保全・保護します。

産業、福祉、スポーツ、芸術文化などの中核となる人材育成、青少年育成のため、研修事業に参加する経費などの助成を引き続き実施します。

行政の効率化は、財政の健全化に直結するものであり、事務事業・組織機能を定期的に見直し、職員数、職員の資質の向上など職員管理の適正化に努めます。自主財源の確保や有利な財政措置の活用にも努め、健全な財政運営のため、限られた予算の効果的、重点的な運用に努めます。

行政改革の推進は、国の新地方行政改革に基づく、行政改革大綱や行政改革実施計画を策定し、全庁一丸となって行政改革に取り組みます。

開かれたまちづくりの推進については、市民と行政が一体となって築く協働社会の実現のため、学区単位、旧地区単位で構成する「地域自治組織」の育成支援に努めます。地域コミュニティの形成を図り、地域の特性を生かした地域活動の実現のために実施する事業に「地域振興基金」を創設、活用して支援していきます。

協働のまちづくりへ全力

以上、18年度市政運営の基本的な方針と主要な施策について申し述べました。

「市民の目線での思考と対話」の下に、行政サービスに対する市民の皆さまの評価に値する行政運営と行政



西根地区市民センターで開催された平成18年市議会第1回定例会

の質の向上を基本姿勢として堅持し、市民の皆さまとの懇談、そして議会と協働を大切に市政運営に心掛けていく所存です。

新年度は、わたしたちにとって、まさに新しい時代の一步を踏み出す記念すべき年です。

市民の皆さまの旺盛な郷土愛とまちづくりへの気概、知恵、行政の力を合わせ、協働と躍進を基本として「農と輝の大地 八幡平市」の実現に向け、熱い心と固い信念を持って着実に取り組む所存です。

新市建設は日々仰ぐ山並みのごとく、決して平坦な道ではありませんが、皆さまの困難を乗り越えることにより、わたしたちにとって素晴らしい未来が開けるものと確信し、施政方針とします。

図3 平成18年度一般会計予算歳出(性質別)内訳

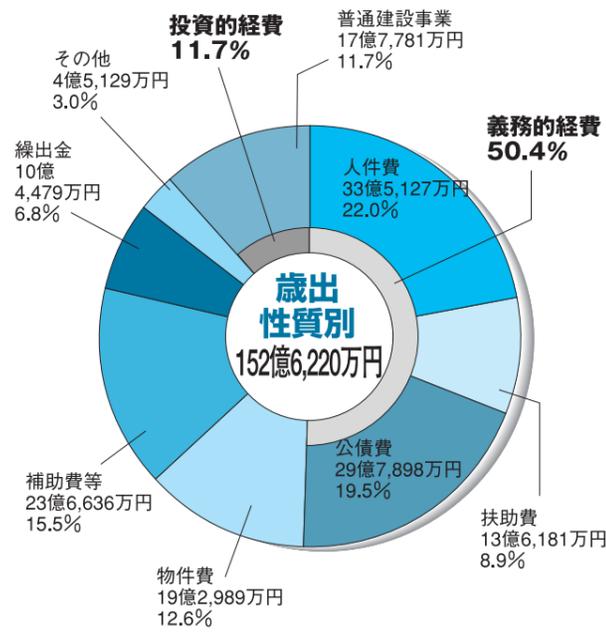


図2 平成18年度一般会計予算歳出(目的別)内訳

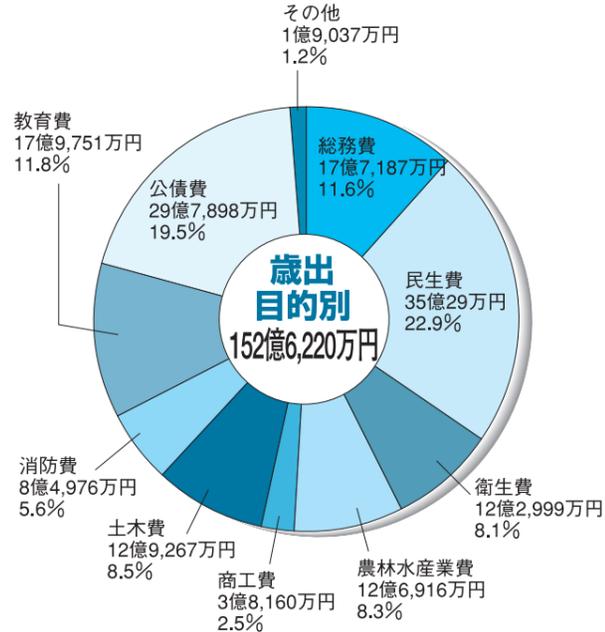
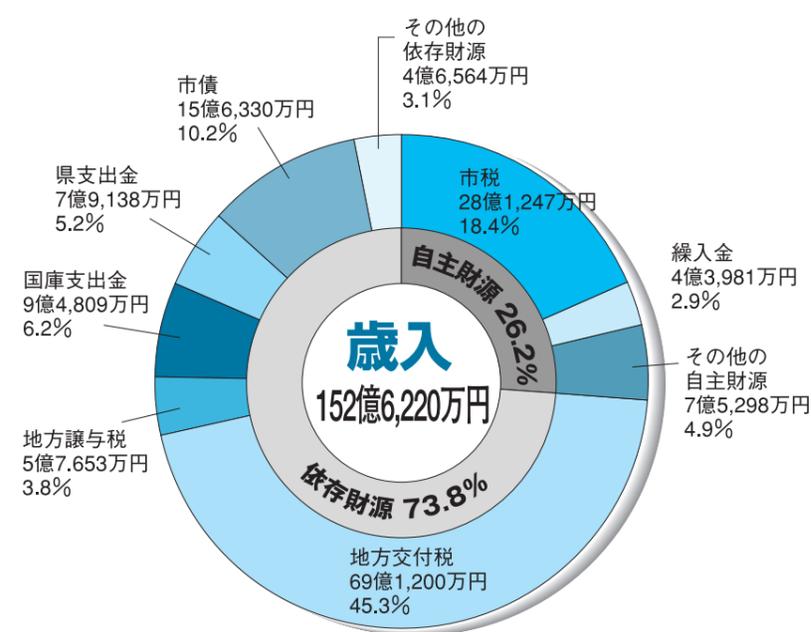


図1 平成18年度一般会計予算歳入内訳



「農と輝の大地」実現へ 152億円の財布の中身は

八幡平市発足後初めての本格予算となる平成18年度一般会計当初予算。総額は152億6,220万円、前年度の当初予算額(旧西根町・68億4,260万円、旧松尾村・39億3,310万円、旧安代町46億7,500万円)より1.2%の減少となりました(金額は1万円以下を四捨五入。「前年度」は、旧3町村の17年度当初予算額の合計)。

歳入 最も多いのは地方交付税 4分の3が「依存財源」に

図1は、歳入の内訳を表したものです。歳入の中で最も多いのは、地方交付税で、前年度より2億1,934万円増加の69億1,200万円。全体の45.3%を占めています。次いで、市税28億1,247万円(18.4%)、前年度比1億6,700万円減、市債15億6,330万円(10.2%)、前年度比1億6,650万円減の順になっています。

歳入は、自主財源と依存財源に大きく分けることができます。自主財源の総額は、前年度より8億3,379万円少ない40億5,266万円。比率が大きいほど財政運営の自主性や

わたしたちが納める市税は？

市民1人当たり **8万8,935円**

1世帯当たり **27万2,764円**

※人口は18年2月末現在で計算

歳出 住民福祉向上に重点置く 約半数が「義務的経費」に

図2は、歳出を目的別に表したものです。最も多いのは民生費で、前年度より6億7,045万円増加の35億2,999万円。全体の22.9%を占めており、住民福祉の向上に重点を置きました。次いで、公債費29億7,898万円(19.5%)、前年度比2億1,652万円増、教育費17億9,751万円(11.8%)、前年度比1億1,995万円増の順になっています。

図3は、歳出を性質別に表したものです。最も多いのは、人件費で、前年度よりも2億6,336万円減少の33億5,127万円。全体の22%を占めています。次いで、公債費29億7,898万円(19.5%)、前年度比2億1,652万円増、補助費等23億6,636万円(15.5%)、1億2,596万円減の順になっています。扶助費は、福祉事務所設置により、前年度より4億6,767万円増加の13億6,181万円(8.9%)となつています。

まちづくりの基盤整備に充てられる「投資的経費」は、全体の11.7%を占める17億7,781万円です。

わたしたちに使われるお金は？

市民1人当たり **48万2,614円**

1世帯当たり **148万 186円**

18年度の主な事業

放課後児童健全育成事業	3,298万円
保育所分園施設整備事業	8,242万円
いわて農業担い手支援総合対策事業	3,360万円
林道軽井沢線開設事業	3,277万円
健康・癒し型滞在観光振興事業	1,180万円
市道14路線新設改良事業	6億2,582万円
西根中学校屋内運動場整備事業	4億4,305万円

【解説】 財政用語

【自主財源】 市税や繰入金など、市が独自に調達できるお金

【依存財源】 地方交付税や国庫支出金など、国や県から交付されるお金

【市税】 皆さんに納めていただく住民税や固定資産税など

【繰入金】 積立金から取り崩したお金

【地方交付税】 市町村の財政力に応じて国から交付されるお金

【市債】 市が事業を行うために借るお金

【総務費】 一般事務経費や積立金などに使われるお金

【民生費】 高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉などの充実に使われるお金

【教育費】 小・中学校、幼稚園など教育の充実に使われるお金

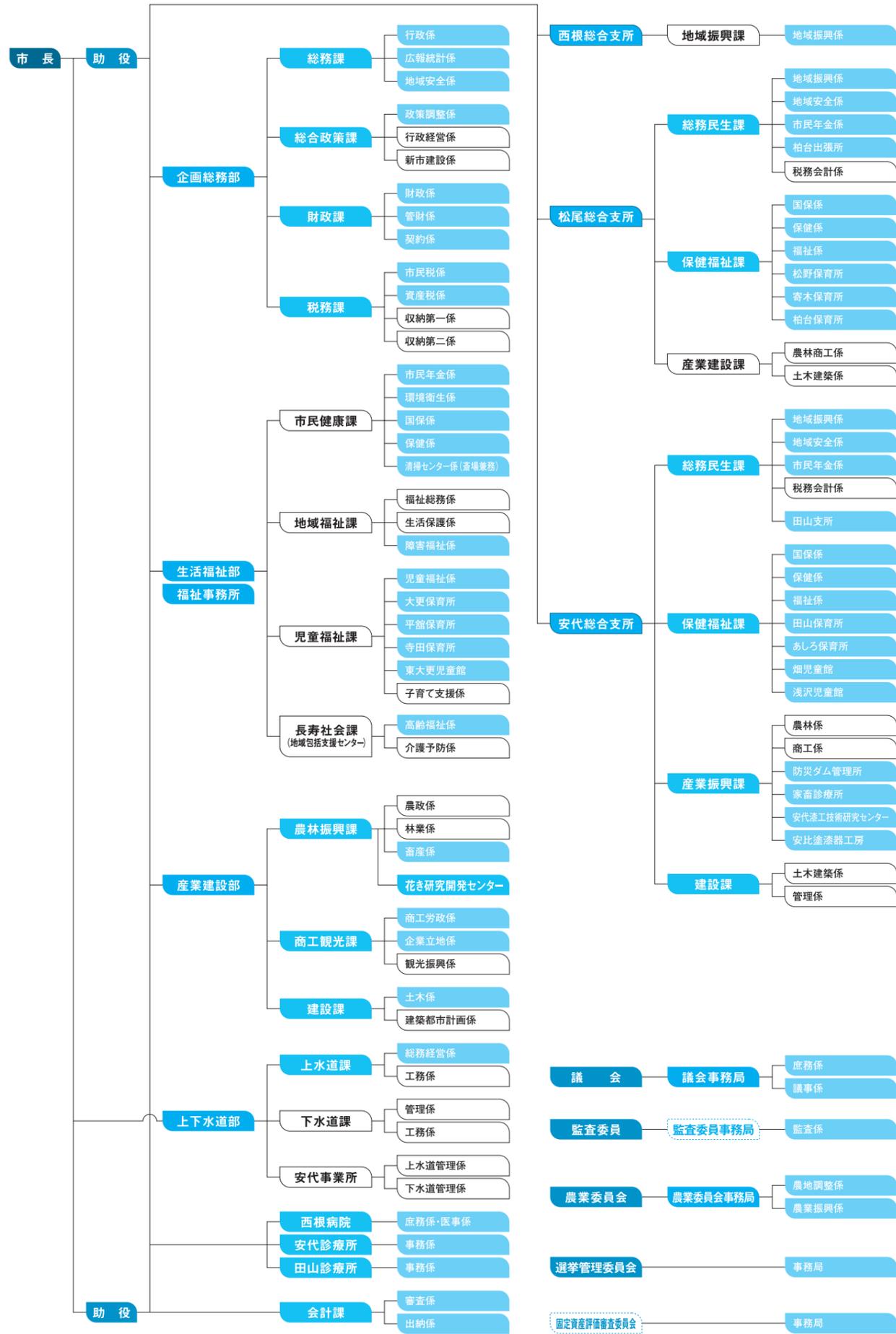
【公債費】 市債を返済するためのお金

【義務的経費】 人件費、扶助費、公債費など支出が義務付けられている経費

【投資的経費】 施設の建設など将来残るものに支出する経費

●18年度一般会計・特別会計の予算額

会計名	18年度予算額
一般会計	152億6,220万円
国民健康保険・事業	28億8,902万円
老人保健	31億5,757万円
公共下水道事業	11億8,821万円
農業集落排水事業	10億8,356万円
浄化槽事業	1億1,257万円
国民健康保健・診療施設	2億7,310万円
索道事業	1,935万円
公共用地先行取得事業	412万円
西根病院事業	6億8,732万円
水道事業	5億2,543万円



行政機構改革

組織の簡素化と効率的な行政運営を目指す市では、4月から各総合支所機能を見直し、本庁に集約するなどの機構改革を行いました。年々増大する事務量と、多種多様にわたる行政サービスで専門性が高まる中、市民の皆さんの要望に適切に応えるため、よりよい組織づくりを検討しました。ここでは、行政組織機構図を示しながら、組織の主な変更点と職員の人事配置(4月1日付)、各部署の配置を紹介します。(14ページまで)

支所機能を本庁に集約

合併で3地区に設置した各総合支所は総務民生、税務、保健福祉、産業振興、建設の5課、上下水道事業所、教育課、農業委員会分室が置かれています。

今回の改革で、西根総合支所は地域振興課のみを設置し、他の業務は本庁に統合。松尾総合支所は税務、建設、上下水道事業所、安代総合支所は税務課を本庁に統合します。

上下水道部は松尾移転

西根、松尾の事業所を包括した上下水道部は管理課の1課から上下水道課、下水道課の2課となり、松尾総合支所に移転します。安代事業所はそのまま存続します。

特定課題の3室を廃止

本庁は、特定課題のプロジェクトチームとして設けた3室を廃止。新市建設対策室を総合政策課、収納向上対策室を税務課、観光振興推進室を商工観光課に組み込みます。

組織簡素化し効率的に

今回の組織再編で、6課、3室、2事業所、3分室が減少。係は105から28減って77となりました。市は、今後も組織の簡素化、効率的な行政運営を目指し、よりよい行政サービスを提供します。



所属課など	職名	氏名	
安代総合支所	保健福祉課	国保係長	村上 郁子
		主任	種市 芳子
		保健係長	田村 春彦
		保健師	山本 静子
		福祉係保健師	小林 恵美
		主任栄養士	田村 直子
	田山保育所	所長	畠山 桂子
	副所長兼主任保育士	杉本 るみ子	
	副所長兼主任保育士	金沢 美恵子	
	保育士	関 悦子	
	調理員兼用務員	北館 史恵	
あしる保育所	所長	上森 富子	
	副所長兼主任保育士	山本 晶子	
	副所長兼主任保育士	武藤 優子	
	主任保育士	大森 玲子	
	主任保育士	滝沢 登美子	
	主任保育士	鈴木 文香	
	主任調理員兼主任用務員	畠山 光子	
	調理員兼用務員	安保 美由樹	
	畑児童館	館長兼主任児童厚生員	三浦 睦子
		児童厚生員	斎藤 恵理子
浅沢児童館	館長兼主任児童厚生員	三田村 ノ工	
産業振興課	課長兼防災ダム管理所長兼家畜診療所長兼安代漆工技術研究センター所長兼安比塗漆器工房所長	伊藤 重伸	
	課長補佐兼安代漆工技術研究センター所長補佐兼安比塗漆器工房所長補佐	工藤 健	
	農林係長兼商工係長	関本 英好	
	農林係主事	佐藤 新	
	主事	小山田 龍司	
	主事(農業委員会事務局併任)	関 満	
	主事(農業委員会事務局併任)	元木 洋介	
	商工係主査	小山田 巧	
	主事	遠藤 桂	
	防災ダム管理所	所長補佐兼管理係長	立花 幸夫
	家畜診療所	副所長兼業務係長	関 和弘
	安代漆工技術研究センター	業務係長	富士原 文隆
	安比塗漆器工房	業務係長	畠山 忠
	建設課	課長	安保 宏
土木建築係長兼防災ダム管理所管理主任		堀口 武一	
主任技師		藤村 弘美	
	管理係長	目時 浩一	

退職者(3月31日付、敬称略)		
種市 昭六	(安代総合支所長兼総務民生課長)	
鬼柳 文雄	(上下水道部松尾事業所長)	
遠藤 治勝	(上下水道部安代事業所長)	
佐藤 源嗣	(安代総合支所建設課長)	
山本 行男	(安代総合支所教育課長)	
高橋 誠	(松野保育所所長)	
三田村 昇	(生活福祉部福祉事務所高齢福祉係長)	
小玉 敏之	(企画総務部総務課主任)	
蹄麻 美	(松尾総合支所総務民生課主事)	
柴田 久美子	(大更保育所保育士)	
沢口 政憲	(西根病院主任診療放射線技師)	
工藤 次夫	(松尾総合支所総務民生課主任自動車運転手兼主任作業員)	
安保 富代	(田山小学校主任用務員)	
吉田 節	(松野保育所主任調理員兼主任用務員)	

所属課など	職名	氏名			
松尾総合支所	総務民生課	主任自動車運転手兼主任作業員	高橋 健四郎		
		主任自動車運転手兼主任作業員	中村 正利		
		自動車運転手兼作業員	乙部 一男		
		自動車運転手兼作業員	伊藤 正幸		
		自動車運転手兼作業員	元村 和明		
		地域安全係長	古川 伸也		
		市民年金係長	葛西 美羽子		
		主事	高橋 陽子		
		税務会計係主事	伊藤 信幸		
		柏台出張所	副主任兼市民係長	遠藤 武彦	
			保健福祉課	課長	石羽根 福武
				課長補佐兼福祉係長	小野寺 陽子
				副主任兼国保係長	工藤 六女子
			主事	遠藤 佑輔	
			保健係長	高橋 公子	
			主任保健師	高橋 悦子	
			主任栄養士	田村 順子	
			福祉係主事	関 宏典	
	松野保育所	所長	立柳 陽子		
		主任保育士	鳥居 和枝		
		主任保育士	古川 千恵子		
		保育士	村井 幸恵		
		保育士	立柳 明日香		
		調理員兼用務員	松尾 弘樹		
			石羽根 優子		
	寄木保育所	所長	畠山 礼子		
		主任保育士	工藤 節子		
		保育士	高橋 千春		
		調理員兼用務員	田村 智子		
			小野寺 恵子		
	柏台保育所	所長	伊藤 みよ子		
		主任保育士	畠山 卓子		
保育士		立柳 あゆみ			
調理員兼用務員		田口 志保子			
		畑 孝夫			
		田村 勉			
		工藤 正			
産業建設課	課長	畑 孝夫			
	課長補佐	田村 勉			
	課長補佐	工藤 正			
	農林商工係長(農業委員会事務局併任)	渋谷 栄光			
	主事	佐々木 洋美			
	主事(農業委員会事務局併任)	佐々木 和査			
	主事	種市 篤志			
	土木建築係長	工藤 紀之			
	技師	羽沢 貴			
	技師	竹田 直也			
	主事	土村 岳			
安代総合支所	総合支所長兼総務民生課長	山本 富栄			
	課長補佐	小山田 幸子			
	課長補佐兼税務会計係長	伊藤 良子			
	地域振興係長	黒沢 博範			
	主任	北口 美智子			
	主任	斎藤 美保子			
	自動車運転手兼作業員	畠山 和義			
	自動車運転手兼作業員	立柳 正			
	自動車運転手兼作業員	安保 千博			
	地域安全係長	阿部 正昭			
	市民年金係長	小山田 美恵子			
	主事	佐藤 華央			
	税務会計係主事	斉藤 清香			
	支所長兼市民係長	工藤 加寿子			
主事	泉山 竜一				
田山支所	課長兼安代老人憩の家所長	四井 昭子			
	課長補佐兼福祉係長	佐藤 友一			

所属課など	職名	氏名		
教育委員会事務局	安代地区学校給食センター	業務係長	松田 順一	
		主任調理員	安保 トキ	
		主任調理員	荒川 美津子	
		主任調理員	関 たえ子	
		調理員	盛内 和子	
		調理員	遠藤 美佳	
		生涯学習課	課長兼西根地区市民センター所長兼西根地区公民館長	藤田 繁光
			課長補佐兼生涯学習係長	高橋 石夫
			課長補佐兼体育振興係長	藤原 一彦
			生涯学習係主査	金田一 捷誠
	主事		北口 拓也	
	体育振興係主任		立柳 俊一	
	大更公民館	係長兼大更体育館係長	高橋 益子	
	田頭公民館	主任兼田頭コミュニティセンター主任兼田頭体育館主任	遊坐 栄一	
	平館公民館	主事兼平館体育館主事	田村 幸子	
	寺田公民館	副主任兼寺田活性化センター副主任兼西根歴史民俗資料館副主任兼寺田柔剣道場副主任	米田 登志子	
	松尾地区公民館	係長兼松尾歴史民俗資料館係長兼松尾ふれあい文化伝承館係長	高橋 順子	
		自動車運転手兼用務員	工藤 四次郎	
	図書館	館長補佐兼庶務係長兼整理奉仕係長	田村 忠一	
	松尾教育課	課長兼松尾地区公民館長兼松尾歴史民俗資料館長兼松尾ふれあい文化伝承館長	高橋 敏彦	
		課長補佐兼生涯学習係長	佐々木 美保子	
		生涯学習係主事	清川 智紀	
		体育振興係長	伊藤 時彦	
	安代教育課	課長兼田山スキー場支配人兼安代地区・田山公民館長	高橋 実	
西根総合支所	地域振興課	課長	岡田 久	
		課長補佐	鈴木 伸也	
		地域振興係長	小笠原文彦	
		主事	松村 利紀	
		自動車整備副管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	小野寺 瑞夫	
	主任自動車運転手兼主任作業員	石羽根 稔		
	主任自動車運転手兼主任作業員	工藤 信		
	自動車運転手兼作業員	松村 一夫		
	自動車運転手兼作業員	高橋 正広		
	自動車運転手兼作業員	荒井 健		
自動車運転手兼作業員	門屋 正勝			
松尾総合支所	総務民生課	総合支所長兼総務民生課長兼柏台出張所長	高橋 富男	
		課長補佐	松尾 亮	
		課長補佐兼税務会計係長	佐々木 芳子	
		地域振興係長	高橋 浩	
		主任	藤原 重良	
	主事	高橋 美穂		
	主事補	畑 敢		
	主任自動車運転手兼主任作業員	吉田 弘毅		

所属課など	職名	氏名	
病院・診療所	西根病院	看護師	田村 美智代
		看護師	桜井 友子
		看護師	工藤 恵美子
		看護師	留場 尚子
		看護師	宮野 薫
		看護師	本堂 由賀子
		看護師	高橋 美香
		看護師	本名 優美
		看護師	渡辺 みゆき
		看護師	高橋 晃子
		看護師	高橋 ひとみ
		看護師	古川 亜寿香
		看護師	佐々木 里美
		安代診療所	診療所長
	事務局長兼田山診療所事務局長		関 敏博
	事務係長兼田山診療所事務係長		佐藤 令子
	看護師長		津島 綾子
	准看護師		三浦 百合子
	准看護師		田中 美香
	田山診療所	診療所長	藤沢 勲
		看護主任	高村 恵子
		准看護師	佐藤 慶子
		准看護師	森 和江
	会計課	課長	工藤 勲
課長補佐兼出納係長		伊藤 宏子	
審査係長		菅野 美津子	
主事補		高橋 孝徳	
出納係主任		立花 浩	
主事		遠藤 由美子	
議会事務局	事務局長	伊藤 文明	
	事務局長補佐	畠山 一彦	
	庶務係長	津志田 勇孝	
	主事	佐々木 智彦	
農業委員会事務局	議事係長	斎藤 恵美子	
	事務局長	菊池 正男	
	事務局長補佐	石羽根 久美子	
	農地調整係長	村上 直樹	
	主事	佐藤 学	
	農業振興係長	伊藤 純子	
教育委員会事務局	学校教育課	主事	高橋 亮
		教育次長	小野寺 光正
		課長兼学校給食センター所長	八幡 博
		課長補佐兼学事係長	田村 昌治
		副主任兼総務係長	武田 啓子
	新町幼稚園	学事係主任	渡辺 修
		主事	中山 晴美
		総務係主事補	高橋 慶
		主任教諭	高橋 郁子
		主任用務員	佐々木 隆
小学校	大更小学校用務員	松浦 末男	
	田頭小学校主任用務員	田村 仁	
	平館小学校用務員	地館 茂美	
	寺田小学校主任用務員	熊谷 睦子	
	安代小学校用務員	小林 和博	
	西根第一中学校用務員	中村 健悦	
中学校	安代中学校主任用務員	佐藤 智	
	西根中学校用務員	駒田 一彦	
	西根地区学校給食センター	主任調理員	藤原 正雄
		主任調理員	工藤 雅美
		主任調理員	田村 幸三
		主任調理員	本堂 由紀子
松尾地区学校給食センター	副主任兼業務係長	高橋 スミ子	



市議会議員選挙はわたしたちの代表を選ぶ選挙です。必ず投票しましょう

合併による在任特例の任期満了に伴う市議会議員選挙は、4月16日に告示され、23日に投・開票が行われます。八幡平市として初めて行われる市議会議員選挙は、向こう4年間のわたしたちの代表を選ぶ最も身近で大切な選挙です。新しい市のまちづくりは、わたしたちの1票から始まります。投票を棄権することなく、貴重な1票を投じましょう。

■投票時間は午前7時から午後6時まで

八幡平市議会議員選挙の投票日は4月23日

■選挙で投票できる人は

昭和61年4月24日までに生まれた人で、平成18年1月23日以前から八幡平市に住み登録し、投票日まで引き続き住んでいる人が投票できます。

■投票に入場券忘れずに

投票所入場券は、4月17日までに有権者に届くよう郵送します。投票日まで大切に保管してください。投票または期日前投票にお出掛けの際は、自分の入場券を忘れずにお持ちください。

■投票・開票は4月23日

投票・開票の開始時間などは次のとおりです。合併に伴う投票所の変更はありません。入場券に記載されている投票所で投票してください。

▼投票日 4月23日(日)
▼投票時間 午前7時～午後6時

■期日前投票は17日から

投票日当日に、仕事や旅行などで投票できない人は、投票日前日までに期日前投票をすることが出来ます。入場券をお持ちになって期日前投票の会場へお越しください。会場は、各地区ごとに1カ所ずつ設置しており、どの会場でも投票することが出来ます。

■期日前投票は17日から

投票日当日に、仕事や旅行などで投票できない人は、投票日前日までに期日前投票をすることが出来ます。入場券をお持ちになって期日前投票の会場へお越しください。会場は、各地区ごとに1カ所ずつ設置しており、どの会場でも投票することが出来ます。

▼期間 4月17日(月)～22日(土)
▼時間 午前8時半～午後8時

■不在者投票・郵便投票

不在者投票
病院や老人保健施設などに入院・入所している人は、その施設で不在者投票をすることが出来るかを確認し、早めに施設長に申し出てください。

郵便投票
身体障害者手帳などをお持ちの人で、投票所に行くことができない人は、郵便による不在者投票をすることが出来ます。投票用紙などの請求期限は、投票日の4日前(4月19日(水))です。郵便投票ができる人の障害の種類・程度については、市選挙管理委員会事務局まで問い合わせください。

■不在者投票

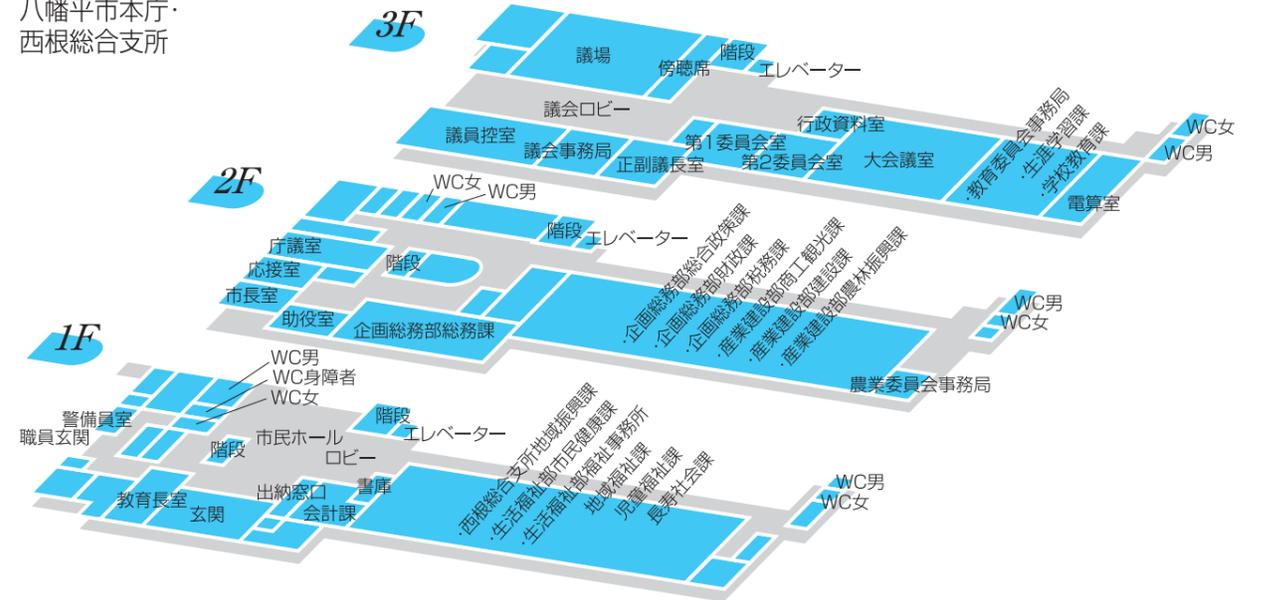
▼会場
・西根地区市民センター
・松尾総合支所1階談話室
・安代総合支所1階ロビー

■詳しくは選挙事務局へ

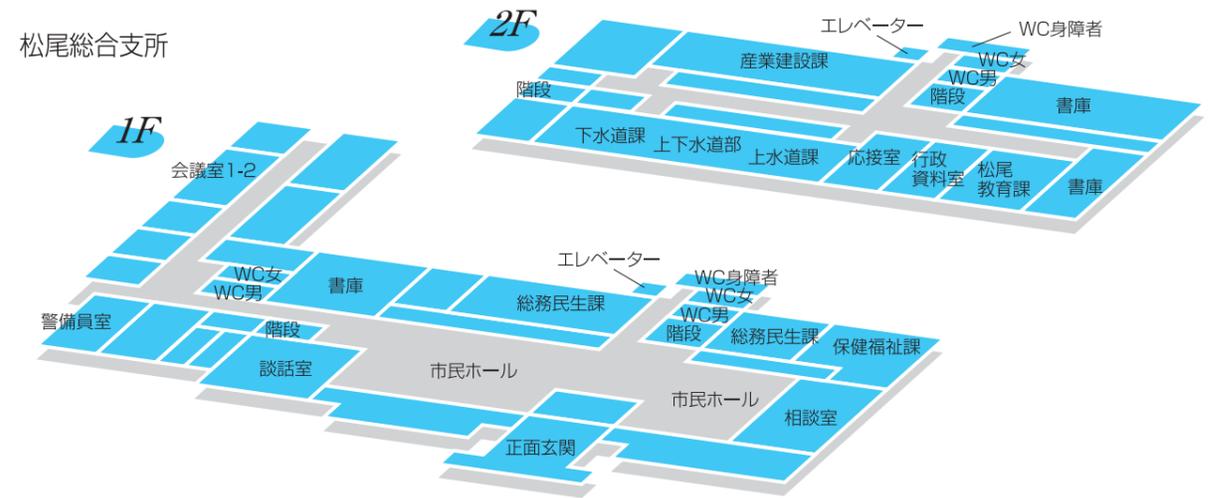
市選挙管理委員会事務局
(☎76-2111)

●市役所・総合支所の配置をお知らせします

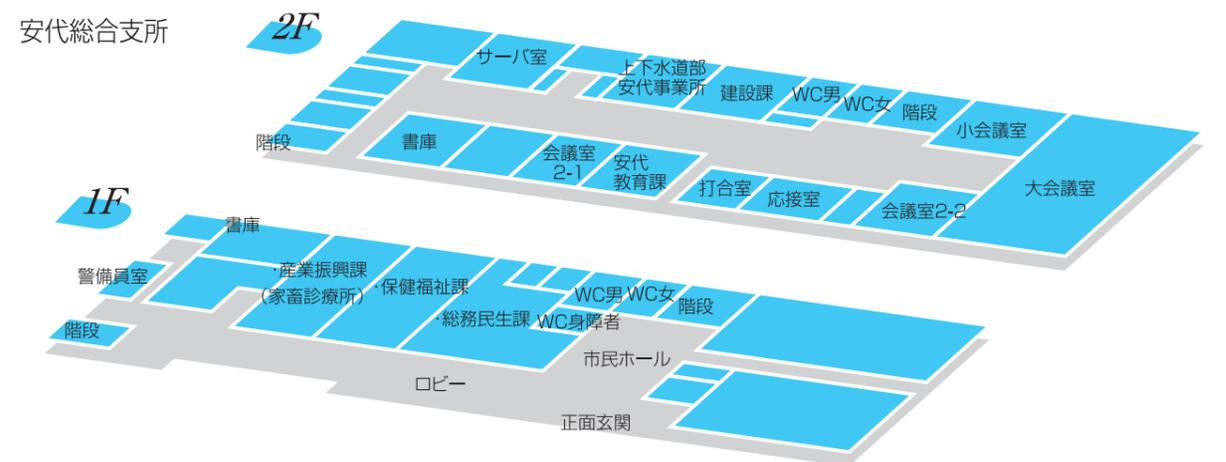
八幡平市本庁・西根総合支所



松尾総合支所



安代総合支所



西根

入院患者を元気づけ、早く病気を治してもらおうと西根中学校吹奏楽部(佐々木志穂部長、部員30人)は3月4日、東八幡平病院でおたのしみコンサートを開きました。コンサートでは、生徒が演歌メロディーなど9曲を披露。入院患者など70人が、迫力ある生演奏を楽しみました。同校では今まで、西根地区内で出張コンサートを開催してきましたが、合併を機に初めて松尾地区で開催しました。



中学生の生演奏が入院患者などを楽しませました

西中吹奏楽部の生演奏で自然治癒力をアップ

長年、西根地区で親しまれてきた新しいわて農協西根中央支所の農事有線放送は2月28日、48年間の歴史に幕を閉じました。西根地区の有線放送は、昭和33年度に大更、田頭両農協でスタート。35年度には平館、寺田両農協でもサービスを開始しました。37年に4農協の有線放送を一本化し統合。49年には、自動ダイヤル化を開始しました。放送部門では1日3回の定

地域の情報源として愛された西根有線に幕

時放送のほか企画番組も放送。平成10年には、全国有線放送番組コンクールで最優秀賞を受賞するなど、地域に密着した内容の濃い番組が編成されました。有線放送は、放送と電話の両面で、地域情報化に貢献。当初の加入世帯は1785戸(大更500、田頭470、平館385、寺田430)で、ピーク時は3700戸が加入していましたが、2月末の加入世帯は1601戸でした。



西根有線放送が幕を閉じる2月28日、最後の原稿が録音され、加入世帯にその放送が届けられました

交通安全活動を実践した平館高に感謝状



吉田署長から感謝状を受ける津志田雅景君(写真右)

交通安全マナーアップモデル校の指定を受け、実践した平館高校は3月2日、岩手警察署から感謝状が贈られました。贈呈式は同校体育館で行われ、吉田修署長が、生徒代表の津志田雅景君(2年)に、交通安全マナーアップ実践活動への感謝状を手渡しました。同校は、平成16年度から2年連続でモデル校に指定。生徒が反射材を積極的に着用したほか、高齢者宅へ交通安全の啓発訪問に取り組みました。

八幡平市

八幡平市社会福祉協議会が3月1日に誕生

社会福祉の向上を目指す西根、松尾、安代の社会福祉協議会は3月1日、3団体を合併し、新生「社会福祉法人八幡平市社会福祉協議会」を発足しました。

3月7日には、第1回理事大会が開かれ、同協議会の初代会長に、工藤勝治さん(大更)を互選、副会長に青木正さん(松尾奇木)、盛内源栄さん(荒屋新町)が決まりました。



3月28日には、八幡平市社会福祉協議会の設立記念式典が開かれ、玄関では名板の除幕が行われました



3月1日には職員に、辞令交付が行われました

3月28日には、同協議会の設立記念式典が、市総合福祉センターで開かれました。玄関には名板が掲げられ、田村正彦市長や工藤会長などの手で除幕が行われました。同協議会の事務所は松尾地区の市総合福祉センターに置き、西根、安代両地区の事務所には、それぞれ支所を置いています。旧3町村の社会福祉協議会は、社会福祉法に1行政1社会福祉協議会の規定があることから、昨年2月から合併の協議を進め、昨年10月20日に合併協定・契約書の調印を行っています。

消防防災活動に尽力した団員などを表彰

消防防災活動に尽力した人を顕彰する平成17年度岩手県消防表彰式は3月15日、県民会館で行われました。

式では、市内の3人が受章した消防庁長官表彰の披露が行われたほか、市消防団などから県知事表彰など44人、1団、2隊が受章しました。消防庁長官表彰を受章した方々は、次のとおりです。(敬称略)
■小野寺千誠副団長(荒木田)、中軽米幸雄副団長(松尾奇木)、工藤十九副団長(姥子石)



消防庁長官表彰の伝達を受ける中軽米副団長(写真右)

市の特産品八幡平ワインの全国PRを誓う



協定書に調印し、立会人とともに握手を交わす田沼征彦新岩手農協組合長(左中)と中村哲雄葛巻町長(右中)

八幡平山ぶどうワインパーティーは2月20日、テレットラック安代で開催され、生産者やワイン製造の関係者など約210人が参加しました。パーティーでは、新岩手農協(田沼征彦組合長)と葛巻高原食品加工(社長・中村哲雄葛巻町長)が、①市産山ぶどうの生産と買い取り②買い取り数量の協議実施③協立立会人の市によるワインの積極的なPR協力—を記した協定書に調印しました。

安代



2年間の研修を修了した(左から)田口理恵子さん、田村明恵さん、野中昭美さんと修了作品

2年間の漆工技術研修修了それぞれの道へ

安代漆工技術研究センターの修了証書授与式は3月28日、安代総合支所で行われました。今回、2年間の研修期間を修了したのは野中昭美さん(田山)、田村明恵さん(西和賀町)、田口理恵子さん(二戸市)の3人。式では、伊藤繁夫市産業建設部長が3人に修了証書を授与しました。同センターは、漆器製作の後継者育成を目的に昭和58年に開設。今回の3人を加え、38人が研修を修了しています。

地域一丸でクロスカントリー大会運営

第16回五日市クロスカントリー大会は2月26日、旧五日市小学校周辺コースで開催されました。市内外から約200人の小・中学生が出場。父や地区住民からの声援を受け、健脚を競いました。同大会は、平成15年3月の五日市小学校閉校後、教員やPTA主体だった大会運営を五日市振興協議会(伊藤重昭会長)が引き継ぎ、地区の住民が一体となり、大会を支えています。



声援を受けながらゴールを目指す子どもたち

県内外から500人が歩くスキーを満喫

今年で8回目を迎える「とうぎんラングライフチャレンジinAPP1」は3月19日、安比高原まきば特設コースで行われました。1歳から84歳までの約500人が県内外からエントリー。参加者は、体力などに応じて3・5・10・15⁺の4コースに分かれ、安比高原の自然と景色を満喫しながら、ラングライフで心地よい汗を流しました。

また、前日の18日には、アルペールビル冬季五輪ノルディック複合団体金メダリストの三ヶ田礼一さんをインストラクターに、同会場でラングライフ教室が開かれました。「ラングライフ」とは、ドイツ語で「歩くスキー」という意味。スキー初心者から愛好者まで、自然を楽しみながら自分のペースで楽しめる冬季の生涯スポーツとして親しまれています。

松尾

市の特産品開発の研究成果を披露

市の農産物を活用し、特産品の開発を進めている松尾ふるさと研究会は2月23日、新いわて農協松尾中央支所で加工品発表会を開きました。同研究会は、地域で加工品の販売を行っている7団体の女性で構成。発表会には、農業や観光の関係者など約50人が参加しました。市特産のヤマブドウやホウレンソウを活用し、健康に良いとされる雑穀



試食会には市の農産物を活用した加工品約50点がズラリ。特産品開発のため、農業・観光の関係者から、素材の生かし方や調理法などの助言を受けました

を織り交ぜた加工品約50点が並べられました。参加者は、ヤマブドウエキス入りのドーナツや大福、ホウレンソウ入りのパンなどを試食。素材の生かし方や加工方法を助言しました。同研究会は発表会の席上で、西根、安代両地区との連携を深めるため、八幡平市ふるさと研究会に名称を変更することを宣言しました。

美しい豊かな心、花のように咲きそろう

人権擁護委員の高橋良二さん(柏台)は3月6日、松尾地区の保育所年長組の園児50人に、コスモスの種をプレゼントしました。

高橋さんは、子どもたちの健やかな成長を願い、この活動を発案。花の種をまき、育てること、心豊かな子どもに育ってほしいとの願いが込められています。高橋さんの活動は、今年で9回目。延べ489人の卒所児に贈っています。



松野保育所で花の種を贈った高橋良二さん(中列中央)

安全を第一に考える優良運転者に表彰状



安全運転を心掛ける優良運転者に賞状が贈られました

交通事故の防止や啓発活動を行う松尾交通安全協会と母の会の総会は3月5日、松尾ふれあい文化伝承館で開かれました。総会では、松尾徳宣会長が、同地区の優良運転者を次のとおり表彰しました。◆藤田範人、佐々木和美(以上、松尾)、佐々木松男、高橋幸三郎、高橋紀久男、山口正男、山口徹、佐藤出、伊藤かおる(以上、野駄)、高橋康子、高橋都子、高橋市蔵、渡部京子(以上、松尾寄木) 【敬称略】

思い出詰まった学びやから 卒業生574人が歩み出す

八幡平市立として初めての卒業証書授与式を挙行



中学校3年間の思い出を紙につづり発表する卒業生(田山中)

八幡平市立として初めての卒業式は3月11、14、17、18日、市内小・中学校でそれぞれ行われました。今年の市内卒業生は、小学校12校で276人、中学校5校で298人です。安代地区の田山中学校では3月14日に挙行。卒業生を代表して安保好智子さんが「田山の思い出を胸に、それぞれの道へと進みます」と答辞を述べました。この後、生徒が主催する第2部も行われ、卒業生は3年間の思い出を紙に書いて発表。卒業生と在校生が心を一つにして全校合唱し、

同校の伝統を引き継ぎました。松尾地区の寄木小学校では3月17日に行われ、河野隆子校長が「自分の力と友達の手を信じ、みんなで励まし合いながら、中学校でも活躍してください」と激励。卒業生から卒業記念品としてソーラン節で羽織る手作りの「長はんとと鉢巻」が贈られました。西根地区の東大更小学校では3月18日に行われました。式のクライマックスは卒業生と在校生の「再出のことば」。卒業生は6年間の思い出を振り返り、感謝と喜びの気持ちを伝えました。これを受けて在校生は、卒業生一人一人が活躍した場面を発表し、「よりよい学校になるよう、力を合わせて頑張ります」と誓いました。



三浦昭子校長が卒業生一人一人に声を掛けながら卒業証書を手渡しました(東大更小)



卒業生は、受け取った卒業証書を成長の証しとして、父母に感謝を込めながら手渡しました(寄木小)

地元球団盛り上げ 応援は満塁弾級に

「地元球団の誕生に胸が躍り、居ても立ってもいらなかった」と設立当初を振り返った。昨年、仲間10人と東北楽天ゴールデンイーグルス(以下、楽天)の岩手応援団を結成し、代表に就任した。「球団公認の応援団は仙台以外では初。今は120人の仲間がいる」と誇らしげだ。会員は小学生から80代まで県内幅広く登録。地元と野球を愛する人ばかりだ。「毎月1回、楽天応援ツアーを開催し、声を枯らすことが楽しみ」と笑った。「昨年は1年目、成績は気にしない。今年は若手の成長が著しい」と期待は膨らむばかり。盛岡中央高から入団した宇部銀次捕手(登録名・銀次)については「打撃センスが良い。リード面で野村野球を学び、大きく育ってほしい」と声が弾む。「将来、球団の野球教室でプロの指導を受けた子どもたちから、楽天に入団する選手が出てほしい。協力は惜しまない」と彼の夢は限りなく広がる。

※アイアンイーグル入会の問い合わせは、小野寺(☎019-645-3388)まで。

小野寺 均さん

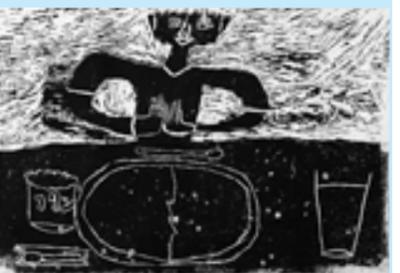
●おのでら・ひとし 松野小、松尾中、生活学園高(現盛岡大学附属高)と野球一筋。同高硬式野球部OB会会長を務める。昨年、東北楽天岩手応援団アイアンイーグル代表に就任。同球団を応援する「熱血ゴールデンスタジアム」に出演中(FM岩手、毎週木曜日午後7時〜)。中華料理を専門にホテルなどで勤務。安価で本格的な中華を味わってほしいと平成15年に盛岡市厨川にチャイナ・スタジアム・オノデラを開店する。モットーは一鍋入魂。日本中国料理協会岩手県青年部顧問。趣味は鮎釣り。40歳。両親と3人暮らし。血液型A型。野沢地区。※銀次のテーマ曲など3曲を収録した、球団公認の楽天応援CDが4月18日に発売されます。

みんなの作品

～安代小～



4年 伊藤 聖永くん



「夏休みの昼ご飯」



2年 小原菜奈未さん



「おしゃれ好きナリス」



6年 村松 愛梨さん



「ゴマアザラシ(クッション)」

※学年は3月現在のものです。

広報クイズ No.7 4月6日号の問題

市の平成18年度 一般会計当初予算額は何億円?

正解者の中から抽選で3人の方に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限 4月21日(金) 消印有効
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス ☎75-0469
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
◎第6回の正解 「紫薫枕」 ◎応募者数 15人 ◎正解者数 15人
◎当選者 高橋綾香さん(大更)、盛内セツさん(平館)、高橋スミさん(松尾寄木)

市教育委員会事務局 ☎76-2111
西根地区芸術文化・体育功績者を表彰

2月26日、西根地区市民センターで西根地区芸術文化功績者および体育功績者表彰式が行われました。表彰式では、9団体と29人が各種大会での功績を表彰されました。(敬称と功績は省略)



田村正彦市長から表彰を受ける、芸術文化や体育部門の功績者

◆芸術文化部門【団体】◆大更小吹奏楽部・高橋香菜美・猪川実咲・多田健悦【個人】◆盛岡二高箏曲・伊藤愛◆盛岡農高科学・藤嶋明日香・鈴木里菜・高橋志門◆盛岡白百合高放送・吉田麗美◆寺田小川柳・中村友香◆西根一中 絵画・小林千紘◆盛岡農高科学・加藤慶太・作文科学・佐々木広大

◆体育部門【団体】◆市相撲協会・越田正信・遠藤良貴・遠藤望・工藤裕一・遠藤祐一・佐々木志輝◆クラリー牧場馬術・千田真紀◆平館高山岳部◆平館高スキー部◆西根中相撲部・遠藤泰介・藤川翔太郎・遠藤清隆・伊藤悠稀・高橋蓮◆西根一中相撲部・泡瀬安晃・佐々木航・津志田秀人・佐々木諒・遠藤直文・遠藤大樹・金高友樹・泡瀬好晃・小野寺隼斗・小野寺幸太◆西根一中ソフトテニス部・松村康平・遠藤浩晃・遠藤泰一・津志田拓矢・杉田久宜・小笠原駿・伊藤諒・丹内友之◆大更小相撲スポ少・遠藤真仁・福土拓也・藤川梓之介・田村祥司・米島伸・工藤一【個人】◆盛岡二高なぎなた・佐々木仁望◆盛岡工高ソフトテニス部・遠藤聡・本間拓也◆盛岡市立高バスケットボール・佐々木恭平・井上豊貴・佐々木美里◆一般相撲・越田正信◆平館高相撲・畠山大輔・遠藤光太・遠藤剛太◆盛岡工高レスリング・井上友矢・田村直樹・佐々木智康◆西根中陸上・岩本美歩◆西根一中ソフトテニス部・遠藤彩子・小野寺叶子◆大更小相撲・福土拓也・遠藤真仁◆平館小相撲・佐々木栞◆寺田小相撲・遠藤真那美

八幡平市体育協会 ☎70-1600

4月から次の教室を開催します。参加ください。

- ◆市民柔道教室
- ▶期間 4月18日(火)～3月 毎週火・木曜日
 - ▶時間 午後7時から
 - ▶場所 寺田柔剣道場
 - ▶対象者 中学生以上(男女不問)
 - ▶参加料 中学生500円、高校生以上1,500円

五日市公民館 ☎72-2961
愛情込めたおいしい「へっちょこ団子」

2月26日、第16回五日市クロスカントリー大会が開催され、地域の多くの方が、ボランティアとして大会を支えました。

五日市公民館のしらかば大学の皆さんは、朝早くから公民館に集まって、おもてなしに「へっちょこ団子」を作りました。孫の世代が多い参加者のために、愛情を込めて作りました。競技終了後に配布しましたが、とてもおいしいと、準備した4つの大きな食缶はあっという間に、カラとなりました。



カワイイ参加者のため、愛情を込めて力を入れて

リフォーム教室で着物がすてきに变身

五日市公民館では、昨年12月から2月までリフォーム教室を開催しました。着ることのない着物・母の残した着物などをリフォームし、洋服に作り変えました。

それぞれ持ち寄った着物を素材により、ベスト・ブラウス・上下活動着・上着・帯地の手提げなどに縫いました。出来上がった洋服は早速試着し「いいものができたね」「難しかったが、着るとうれしいね」など評価しあいながら感激しました。参加者は縫う時の苦労も忘れて「この次は、あの着物でこんなものを縫おう」と、意欲を燃やしていました。



出来上がりは、ジャンポール・ガルティ ▼工並み!?

▲細かい作業も、頑張ってきたい

大更公民館 ☎76-4069
お菓子作りを通し国際交流(ドイツ編)

大更公民館では、2月10日に「作って語ってわいわい国際理解講座」を開催しました。

この講座では、ドイツ出身のセバスチャン・バルトロメーさん(岩手県文化国際課勤務)を講師に迎え、「ドイツのお母さんの味」というクッキーを作りました。クッキーの生地を冷蔵庫の代わりに外の雪の中で寝かせ、その間にドイツの美しい町並みの写真を見せていただきました。ドイツの風土や学校制度、住宅の構造から環境問題への取り組みなどについて話を聞きました。

話には、20年前からスーパーなどのレジ袋はほとんどないなど、文化の違いに驚くことばかりで、受講者からの質問もたくさん出ました。和気あい

あいと交流の時間はあっという間に過ぎました。岩手県内にドイツ出身者は5人住んでいるということなど、



楽しくお菓子作りをするセバスチャンさん(写真中央)と受講者の皆さん

貴重な話とおいしいクッキーに受講者の皆さんは、大変満足なひとときを過ごしました。

レシピ Vanillekipferl(バニレキップファル)



- 材料(分量4人分)
 - バター……100g アーモンドパウダー……50g
 - 粉砂糖……15g バニラエッセンス……少々
 - 小麦粉……150g バニラ砂糖……少々
 - 卵黄……1個 粉砂糖(別分量)……たくさん
- 作り方
 - ①溶かしたバター、粉砂糖15g、小麦粉、アーモンドパウダー、バニラエッセンスと卵黄をこね、生地を2時間冷蔵庫の中で寝かせる。
 - ②型を作る。(小さな三日月のような形)
 - ③オーブンを170度に温め、10分間焼く。
 - ④粉砂糖とバニラ砂糖を混ぜ、クッキーをよく冷やしてから、混ぜた砂糖をたっぷり振りかける。

LIBRARY 市立図書館 ☎75-1700 FAX75-1701

図書館だより

新年度のスタートです。市立図書館には、新しい本がぞくぞく入っています。本年度も図書館をたくさんご利用ください。

第48回こどもの読書週間

こどもの読書週間は、4月23日(日)から5月12日(金)までです。期間中、当館では「ファンタジー特集」のテーマ展を予定しています。この機会に、家族や友達同士で不思議な物語の世界を楽しんでみませんか。



魔法の国へのパスポート

- 行事・休館日のお知らせ ■
- ▶4月のテーマ展 「新着図書の紹介」
- ▶休館日 4月29日(土)、5月1日(月)、3日(水)、4日(木)、5日(金)

平成17年度 たくさん読まれた本・ランキング (集計期間：17年3月～18年2月)

17年度も多くの市民が図書館を訪れました。今回は、図書館でたくさん読まれた本を紹介します。

- 【一般書】
- ①キッパリ! / 上大岡トメ
 - ②世界の中心で、愛を叫ぶ / 片山恭一 博士の愛した数式 / 小川洋子
 - ③さまよう刃 / 東野圭吾
 - ④対岸の彼女 / 角田光代
 - ⑤ダ・ヴィンチ・コード 上 / ダン・ブラウン
 - ⑥いま、会いにゆきます / 市川拓司
 - ⑦ブラック・ジャック 1 / 手塚治虫
- 【児童書・絵本】
- ①、②ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上・下 / J.K.ローリング
 - ③かいけつゾロリとまほうのへや / 原ゆたか
 - ④ハウルの動く城 / ダイアナ・ウイン・ジョーンズ
 - ⑤ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上 / J.K.ローリング



お知らせ Information

詳しくは各部、各機関にお問い合わせを

- 八幡平市役所 76-2111
- 松尾総合支所 74-2111
- 安代総合支所 72-2111

ホームページアドレス
http://www.city.hachimantai.lg.jp



東大更小学校卒業式・門出の言葉
(3月18日、東大更小学校体育館)



寄木小学校卒業式・卒業証書授与
(3月17日、寄木小学校体育館)



田山中学校卒業式・卒業生答辞
(3月14日、田山中学校体育館)



ラングライフチャレンジinAPP1
(3月19日、安比高原まきば特設コース)



第16回五日市クロスカントリー大会
(2月26日、旧五日市小学校周辺コース)

国家公務員Ⅱ種 採用試験を実施

人事院では、国家公務員Ⅱ種(大学卒業程度)の採用試験を次のとおり行います。

■受験資格 昭和52年4月2日から60年4月1日まで生まれた人(昭和60年4月2日以降に生まれた人は、平成19年3月までに大学卒業見込みの人など)

■受付期間 4月14日(金)から25日(火)まで(郵送の場合、最終日消印有効)

■1次試験日 6月18日(日)

詳しくは、人事院東北事務局第二課(☎022-221-2022、人事院ホームページhttp://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm)まで。

大学卒業程度対象に 「国税専門官」を募集

仙台国税局では、国税専門官(大学卒業程度)の採用試験を次のとおり行います。

■受験資格 昭和54年4月2日から60年4月1日まで生まれた人(昭和60年4月2日以降に生まれた人は、平成19年3月までに大学卒業見込みの人など)

■申込期限 4月14日(金)(郵送の場合、消印有効)

■1次試験日 6月11日(日)

詳しくは、仙台国税局人事第二課(☎022-263-1111、内線3236、国税庁ホームページhttp://www.nta.go.jp)まで。

仙台市と滝沢村で開催 「いわて就職面接会」

勤ふるさといわて定住財団では、2会場で「いわて就職面接会」を次のとおり開催します。

■日時と場所

○4月14日(金)午後1時から4時まで、仙台サンプラザ(仙台市)

○4月19日(水)午後1時から5時まで、岩手産業文化センター・アピオ(滝沢村)

■対象 県内に就職を希望する19年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生、既卒者、一般求職者

■内容 参加企業との個別面談、ハローワークによる職業相談、コンピューターでの適職診断

詳しくは、勤ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)まで。

固定資産課税台帳などの 閲覧・縦覧を実施します

平成18年度の固定資産税の基礎となる固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格などの縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。

■期間 5月31日(水)まで

■時間 午前8時半から午後5時まで(土・日・祝日を除く)

■場所 市役所税務課または、松尾、安代両総合支所の総務民生課

■閲覧・縦覧できる人 【閲覧】固定資産所有者と代理人(委任状が必要) 【縦覧】固定資産納税者

詳しくは、市役所企画総務部税務課(☎76-2111)まで。

歯に関する悩みを 電話で相談しよう

県保険医協会歯科部会では、歯や口の健康に関する無料電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」を次のとおり行います。

■日時 4月18日(火)午前10時から午後8時まで

■電話番号 ☎019-651-7341

詳しくは、県保険医協会歯科部会(☎019-651-7341)まで。

再就職希望者など対象 職業生活設計セミナー

(社)岩手雇用開発協会・岩手高齢期雇用就業支援コーナーでは、再就職を希望する方などを対象に無料セミナーを開催します。

■開催日時と講演内容

▷4月14日(金)午後1時半から3時半まで、「健康管理について(高齢者の健康管理)」

▷4月18日(火)午後1時から3時まで、「分かりやすい社会保険について」

▷4月25日(火)午後1時半から3時半まで、「自分を生かす働き方」

▷5月12日(金)午後1時半から3時半まで、「暮らしの税情報」

■場所 岩手高齢期雇用就業支援コーナーセミナー室(盛岡市)

■定員 20人(先着順)

詳しくは、(社)岩手雇用開発協会・岩手高齢期雇用就業支援コーナー(☎019-651-1130)まで。

岩手山演習場で行う 4月の実弾射撃訓練

陸上自衛隊岩手駐屯地では、岩手山演習場で実弾射撃訓練などを次のとおり実施します。

なお、悪天候により中止や時間の変更を行う場合があります。

■実施日時

日	時間	音響
17~21日	午前7時~午後9時	中
22・29日	午前8時~午後5時	大
23・30日	午前10時~午後4時	
24~28日	午前8時~午後7時	

演習場内は危険なので、関係者以外の立ち入りはできません。

詳しくは、陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室(☎019-688-4311、内線367)まで。

職業訓練講座 受講生を募集

盛岡地域職業訓練センターでは、生涯職業訓練のための各種講座を次のとおり開催します。

【工藝袋物講座】

■日時 4月26日(水)から10月25日(水)まで(隔週水曜日、全13回)、午前10時から午後4時まで

■受講料 28,600円+材料代

■定員 24人

【仕履講座】

■日時 4月28日(金)から11月10日(金)まで(隔週金曜日、全10回)、午前10時から午後4時まで

■受講料 39,000円+材料代

■定員 10人

詳しくは、盛岡地域職業訓練センター(☎019-651-3001)まで。

森林を守るため 山火事に注意を

3月10日から5月31日までは、山火事防止運動月間です。

森林を守るため、次のことを守り、山火事を起さないよう十分注意しましょう。

【山火事を起こさないために】

- ①枯れ草などのある場所では、たき火などをしない。
- ②強風や乾燥時には、たき火、火入れをしない。
- ③たき火の場所を離れるときは、完全に消火する。
- ④たばこの火は必ず消し、車などから吸い殻を投げ捨てない。
- ⑤火遊びはしない。

詳しくは、市役所産業建設部農林振興課林業係(☎76-2111)まで。

初平の平民宰相として有名な原敬と、貴族院議員を務めた旧大更村出身の工藤寛得は、盛岡藩校作人館時代の学友です。その後も2人の親交は深く、大正7年8月29日、大更・八坂神社境内で行われた工藤寛得顕彰碑除幕式に、政友会総裁で多忙の原敬が出席。その1カ月後、原敬は内閣総理大臣に就任しました。こうして原敬と地域のつながりを後世に伝えようと、旧西根町史編さんに携わった12人による顕彰句碑建立実行委員会(駒ヶ嶺泰生代表)が、原敬157回目の誕生日に当たる昨年12月17日、工藤寛得顕彰碑のそばに原敬顕彰句碑を建立しました。句碑には、工藤寛得顕彰碑除幕式の際に原敬が詠んだ「親富士の裾に小富士の 秋日和」が刻まれています。

いにしへの歴史探訪

【原敬顕彰句碑】大更・八坂神社





健やかに

- ◆12月届け出分
 - 伊藤 優希(女/弘之/平笠)
 - 小澤 誠太(男/仁/大更)
 - 高橋 俐匠(男/政行/大更)
- ◆2月届け出分
 - 小林 蓮夢(男/孝征/大更)
 - 遠藤 りの(女/忠寛/田頭)
 - 齋藤 綺皇(女/豊/平館)
 - 齋藤 歩(男/透/寺志田)
 - 山口聖由希(女/新悟/野駄)
 - 工藤 梨花(女/弘/松尾寄木)
 - 伊藤 龍生(男/洋二/大更)
 - 新井 華恋(女/英正/大更)
 - 齋藤 錬音(男/記明/打田内)
 - 高橋 匠(男/悟/大更)
 - 高橋清之介(男/清剛/松尾寄木)
 - 熊谷 理愛(女/剛/柏台)

お幸せに (2月届け出分)
 (千葉 健太 野駄 伊藤 瑞恵 柏台)

安らかに

- ◆12月届け出分
 - 本堂 サメ 85歳 大更
 - 森 善次郎 93歳 大更
- ◆2月届け出分
 - 佐々木チエノ 94歳 大更
 - 小野寺利也 74歳 大更
 - 田村 サト 85歳 大更
 - 横澤 盛三 85歳 大更
 - 田村 ヨシ 76歳 大更
 - 工藤 忠志 63歳 大面平
 - 加藤ミツエ 73歳 田頭
 - 高橋 勝藏 79歳 野駄
 - 松村 彦惣 95歳 大更
 - 佐々木忠一 80歳 西根寺田
 - 畠山 利彦 45歳 打田内
 - 工藤トキ子 83歳 田頭
 - 藤原 サメ 53歳 平館
 - 小田嶋マツ 94歳 細野
 - 佐藤重五郎 77歳 吠田
 - 中村仙一郎 92歳 荒木田
 - 高橋 功 65歳 作平
 - 畑 清 78歳 松尾寄木
 - 畠山 スゲ 94歳 田頭
 - 高橋ハツコ 74歳 平館
 - 本堂興次郎 86歳 大更
 - 佐々木サメ 73歳 松尾
 - 遠藤 仁助 82歳 扇畑
 - 齋藤 トミ 94歳 平館
 - 遠藤 キワ 92歳 帷子
 - 高田末次郎 82歳 石名坂
 - 佐藤 重二 84歳 上の山
 - 松村 菊松 76歳 大更
 - 齋藤マツエ 92歳 古屋敷
 - 立柳 トヨ 94歳 野駄

掲載は届け出順で届け出人の希望のみ行っています(敬称略)

人口の動き【2月28日現在()は前月比】

地区	西根	松尾	安代	計	男	女
人口	18,599 (-19)	6,945 (-3)	6,080 (-23)	31,624 (-45)	15,386 (-19)	16,238 (-26)
世帯数	5,946 (-3)	2,331 (+2)	2,034 (-3)	10,311 (-4)		
出生 13人 死亡 35人 転入 35人 転出 58人						

平成18年市内発生交通事故、飲酒運転検挙者数、火災・救急出動状況

	人身	物損	負傷	死者	検挙者	火災	救急
2月	11件	71件	12人	0人	0人	2件	90件
累計	14件	139件	18人	0人	0人	2件	190件

休日当番医

月日	市内(8:30~17:00) ※昼時間を除く	鹿角市(9:00~20:00)
4月9日(日)	伊藤小児科医院 ☎75-1816	小笠原医院 ☎0186-35-2011
16日(日)	畠山内科クリニック ☎75-2355	三ヶ田医院 ☎0186-31-1231
23日(日)	平館クリニック ☎74-3120	いけがみクリニック ☎0186-30-0111
29日(土)	吉田内科呼吸器科医院 ☎70-1100	三ヶ田医院 ☎0186-31-1231
30日(日)	森整形外科 ☎76-2318	大里病院 ☎0186-22-1251
5月3日(水)	瓜田外科胃腸科医院 ☎76-3220	鹿角中央病院 ☎0186-23-4131
4日(木)	東八幡平病院 ☎78-2511	福永医院 ☎0186-35-3117
5日(金)	西根病院 ☎76-3111	いけがみクリニック ☎0186-30-0111
7日(日)	伊藤小児科医院 ☎75-1816	長橋医院 ☎0186-23-7612
14日(日)	畠山内科クリニック ☎75-2355	笹村整形外科 ☎0186-30-0035

小児救急入院受入病院の当番

病院名	電話番号	当番日
岩手県立中央病院	019-653-1151	4/8、11、17、21、24、27、30、5/2、5、9、12
盛岡市立病院	019-635-0101	4/14、20、5/8
岩手医科大学付属病院	019-651-5111	4/7、10、13、16、19、23、26、28、5/1、4、7、11、14
盛岡赤十字病院	019-637-3111	4/6、9、12、18、22、25、5/3、10、13
もりおかこども病院	019-662-5656	4/15、29、5/6

<小児救急病院の選び方>

- ◆平日夜間 19:00~23:00→盛岡市夜間急患診療所(☎019-654-1080)、上記の時間以外→小児救急入院受入当番病院
- ◆日・祝日 9:00~17:00→休日当番医、19:00~23:00→盛岡市夜間急患診療所、上記の時間以外→小児救急入院受入当番病院

岩手医大からの出張診療日

- ◆安代診療所(☎72-3115)
出張診療日 毎週金曜日の午前中
診療科目 外科
- ◆田山診療所(☎73-2126)
出張診療日 4月20日(木)の午前中
診療科目 脳神経外科

市民に役立つ情報掲示板

詳しくは本庁・西根総合支所(☎76-2111)、松尾総合支所(☎74-2111)、安代総合支所(☎72-2111)の各課へ

市内総合

【本庁・商工観光課】

- ▶4月28日(金) 八幡平アスピーテライン、樹海ライン開通(10:00~、アスピーテライン登り口)※天候により、変更する場合があります。
- ▶4月29日(土) 桜松公園清掃奉仕作業(9:30~、桜松公園)
- ▶4月下旬 八幡平山開き【予定】(八幡平山頂)

- ▶5月3日(水) 不動の滝まつり(10:00~、桜松公園)
- ▶5月3日(水)~5日(金) 八幡平さくらと残雪まつり(松尾八幡平ビジターセンター周辺)

【本庁・生涯学習課】

- ▶4月18日(火) 市民柔道教室開講(19:00~、寺田柔剣道場)
- ▶4月22日(土) 市スポーツ少年団結団式(10:00~、市総合運動公園体育館)
- ▶5月1日(月) 市民アーチェリー教室開講(18:30~、松尾地区体育館)

西根地区

【西根総合支所・地域振興課】

- ▶4月20日(木) 行政相談(9:00~12:00、西根地区市民センター第1研修室)
- ▶4月25日(火) 人権相談(9:00~12:00、西根地区市民センター第1研修室)

【本庁・市民健康課】

- ▶4月6日(水)、5月2日(火) 平館地区健康相談(9:30~10:30、平館公民館)
- ▶4月6日(水)~16日(日) 胃検診(6:30~9:00、田頭公民館【6日】・山子沢公民館、松川公民館【7日】・松久保公民館、渋川小学校、荒木田集落センター【8日】・西根地区市民センター【9、16日】・大更公民館【10、11日】・上平笠公民館【10日】・下平笠公民館【11日】・寺田公民館【12日】・平館公民館【13、14日】、山後公民館、両沼公民館【15日】)
- ▶4月18日(火) 犬・猫引き取り(10:45、市役所)、3歳児健診

(13:15~、田頭公民館)

- ▶4月19日(水) 田頭地区健康相談(9:30~10:30、田頭公民館)、成分献血(9:30~15:30、市役所)
- ▶4月21日(金) 親子教室(9:30~11:00、田頭公民館)
- ▶4月25日(火)~28日(金) ポリオ予防接種(受け付け14:00~14:30【26日、28日は13:00~13:30】、西根地区市民センター)
- ▶4月26日(水) 盛岡社会保険事務所の出張相談(10:00~15:00、市商工会)
- ▶4月27日(木) 乳児健康相談・離乳食講習(9:30~10:30、田頭公民館)、全血献血(9:30~11:00・ショッピングプラザくどう大更店、12:00~13:00・㈱ニユートン、14:30~16:00・道の駅にしね)
- ▶4月28日(金) 健康ウォーキング講座(9:30~11:00、大更公民館)
- ▶5月9日(火) 乳児検診(受け付け13:15~14:00、田頭公民館)

【松尾総合支所・保健福祉課】

- ▶4月11日(火) 柏台健康相談(10:00~12:00、柏台地区センター)
- ▶4月12日(水)、26日(水) ポリオ予防接種(受け付け15:00~15:30、東八幡平病院)※予約は、接種日の1週間前の午後に病院で受け付け
- ▶4月17日(月)~21日(金)、23日(日) 胃・大腸ガン検診(6:30~9:00、松尾保健センター【17、21日】・柏台地区センター【18日】・新田生活改善センター【19日】・中松尾集落センター【20日】・南寄木集落センター【23日】)
- ▶5月2日(火) 1歳6カ月検診(12:30~13:00、松尾保健センター)

13:30、安代診療所【11日】・田山診療所【20日】)※予約は、接種日の1週間前の午後に各診療所で受け付け

- ▶4月21日(金) 巡回リハビリ(9:30~12:00、安代保健センター)、
- ▶4月24日(月)、25日(火)、27日(木) 婦人検診(受け付け9:00~10:00、12:30~13:30、安代地区体育館【24、25日】・田山公民館【27日】)
- ▶5月9日(火) レクリハビリ(9:30~15:00、安代保健センター)
- ▶5月12日(金) 乳幼児健診(受け付け13:00~13:30、安代保健センター)

松尾地区

【松尾総合支所・総務民生課】

- ▶4月10日(月) 行政相談(9:00~12:00、市総合福祉センター)
- ▶4月17日(月) 人権相談(9:00~12:00、市総合福祉センター)
- ▶4月18日(火) 犬・猫引き取り(10:15、松尾総合支所)
- ▶4月26日(水) 盛岡社会保険事務所の出張相談(10:00~15:00、市商工会)※市商工会松尾支所での相談はなくなりました

安代地区

【安代総合支所・総務民生課】

- ▶4月10日(月) 人権相談(9:00~12:00、田山公民館)
- ▶4月14日(金) 行政相談(9:00~12:00、ふれあいセンター)
- ▶4月25日(火) 盛岡社会保険事務所の出張相談(13:00~17:00、市商工会安代支所)
- ▶5月9日(火) 犬・猫引き取り(10:30、安代総合支所)
- 【安代総合支所・保健福祉課】
- ▶4月11日(火)、20日(木) ポリオ予防接種(受け付け13:00~

てあ行こう

八幡平・岩手山を中心とした市の広域観光情報発信拠点 松尾八幡平ビジターセンター

平成16年に開館した八幡平ビジターセンター。荒天でも八幡平を楽しめるように、映像や動植物の資料などを多数展示しています。ゴールデンウィーク前にはアスピーテ、樹海両ラインが開通。予約すれば、ガイドが八幡平の散策に同行し、高山植物を紹介してくれます。この施設には、4月に合併した(社)八幡平市観光協会が事務所を構え、観光情報の提供なども行うほか、産直施設も隣接しています。



- 主な展示 八幡平地域ハイビジョン映像コーナー、八幡平・岩手山地域模型、昆虫標本、高山植物コーナー、パソコンコーナーなど
- 入場料 無料
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 年中無休
- 場所 柏台1丁目28番地(松尾八幡平ICから八幡平方面へ車で6分)
- 問い合わせ 社団法人八幡平市観光協会 ☎78-3500

はちまんたいしのおともだち

平館保育所(年長組37人、4月から小学1年生になっています)



▽広報担当を卒業することになりました。「広報にしね」から通算6年、取材や原稿作成など、苦勞も多かったのですが、今は広報を離れるのが寂しい「泣き泣き来て、泣き泣き帰る」の心境です。今まで取材にご協力いただいた皆さん、広報を読んでいた皆さん、どうもありがとうございました。ありがとうございました。(津志田)

▽旧安代町役場で採用と同時に広報を担当してからあっという間の3年。私も広報を卒業することになりました。3年間発行できたのは、皆さんからご協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。志半ばでの卒業でしたが、広報を担当して多くの人と出会うことができ、私は本当に幸せでした。(拓也)

▽卒業試験に失敗し、広報統計係に残留することになりました。旧松尾村時代を含め6年目になります。この係はわたし一人を残し、全員が異動。合併前から協力し、励まし合いながら広報を作った仲間と離れることは寂しい限りです。新しい出会いを楽しみながら、本年度も頑張りますので、よろしく願います。(隆二)

こしらひ
編集室